

令和5年度 三豊市指定管理者評価委員会 評価票

施設名	三豊市詫間町松崎コミュニティセンター
指定管理者	特定非営利活動法人まちづくり推進隊詫間
評価方法	書類調査・実地調査・ヒアリング調査(R5.11.8)

1.施設の安定、継続的な管理運営

評価項目	細項目			
①維持管理運営	B	清掃、警備、衛生	C	施設、設備の保守・修繕
	B	備品管理	B	記録管理
委員コメント				
清掃等適切に行えている。老朽化による施設の悪化があり、保守・修繕を行う必要がある。				
評価項目	細項目			
②人員の確保	B	適正な人員配置	B	職員の教育・研修
委員コメント				
適切な人員配置はできている。				
評価項目	細項目			
③安全対策、危機管理	B	危機管理マニュアル 避難計画の整備	C	定期訓練の実施
委員コメント				
令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、避難訓練の開催は見送りとなったが、体制整備は実施できている。多数の団体が利用しているようなので、危機管理マニュアルの周知はなかなか難しい面があるが、周知に努めてほしい。				
評価項目	細項目			
④個人情報保護、情報公開	B	個人情報の管理	B	情報の管理・公表
委員コメント				
体制整備は確立できており、適切に管理されている。				

評価
B

2.市民サービスの充実、向上

評価項目		細項目			
⑤サービス、利便性の向上	B	受付・対応	B	職員の服装	
	B	利用案内			
委員コメント					
受付対応・利用案内等適切である。					
評価項目		細項目			
⑥利用者調査、要望、苦情	B	利用者満足度調査の結果	B	要望意見の反映	
	B	苦情対応			
委員コメント					
適正に管理されていると思われるが、一部、利用者の要望を聞きすぎている部分があり、市の対応が必要である。					

評価
B

3.施設等の活性化

評価項目		細項目			
⑦ 指定事業、自主事業	B	指定事業の実施	B	指定事業の実績	
	B	自主事業の実施	B	自主事業の実績	
	B	参加促進の取組み	B	参加促進の取組みの実績	
委員コメント					
指定・自主事業ともに実施できているが、利用料を徴収できる事業が少ない。					

評価項目	細項目			
⑧利用促進、広報PR対策	B	利用促進の取組み	B	利用者数、稼働率
	C	ホームページ等による広報		
委員コメント				
稼働率は高いが、無料利用が多い。				

評価
B

4.経費の削減、行政事務の効率化

評価項目	細項目			
⑨ 予算執行、経理事務	B	経費の管理	B	経理処理
	B	利用料金徴収	B	現金管理
	B	収支計画書に即した予算の執行		

委員コメント				
予算執行は適正である。				

評価項目	細項目			
⑩経費節減	B	経費節減の取組み	B	経費節減の効果

委員コメント				
経費の削減は実施済であるが、経費削減の効果については、もう少し時間がかかると考える。改善の取り組み姿勢は、十分理解できる。				

評価項目	細項目			
⑪収支状況	B	事業収支		

委員コメント				
無料で利用できる団体利用も多く、今後の利用料金徴収について考えて解決しなければ、収支の評価が上がることは難しい。				

評価
B

5. 総合評価

委員コメント	総合評価
<p>施設管理においては概ね管理できているが、施設の一部が、別のルールにより管理されており、運営管理の一定化が図れていないと思われる。指定管理者の経営努力に加え、市が協力し、施設管理・運営管理の統一化を図る必要性がある。松崎コミュニティセンターとしての機能と役割を今一度、ゼロから見直す必要があると考える。</p>	B

細項目 ↓	A(優良):管理運営状況、サービスの内容等が優れている B(良好):管理運営状況、サービスの内容等が標準的な水準を充たしている C(課題含):管理運営状況、サービスの内容等の一部に課題がある D(要改善):管理運営状況、サービスの内容等に改善が必要である
↓ 評価 ↓	A(優良):細項目の評価がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B(良好):細項目の評価がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である(上記以外) C(課題含):細項目の評価がすべてC以上である(上記以外) D(要改善):細項目の評価にDが含まれている
↓ 総合評価	A(優良):評価がすべてB以上であり、かつAが2つ以上である B(良好):評価がすべてB以上である(上記以外) C(課題含):評価がすべてC以上である(上記以外) D(要改善):評価にDが含まれている

評価に対する対応方針等

当施設は30年が経過し老朽化が否めないが、三豊市指定避難所の重要な役割を担っており、設備の保守・修繕については、引き続き市と協議しながら改善するよう努める。

また、定期訓練の実施については感染症対策として近年見送っていた防火訓練をR6年2月20日に開催した年間利用者予約会で実施し、利用者に防火設備の再確認・防災意識の向上を促すことが出来た。今後も定期的に行うものとする。

広報PR対策としては、SNSやホームページを活用することで情報発信を行い、施設の認知・利用促進を図る。今後も、地域コミュニティの集いの場として活用、また一般利用者の利用促進に務め地域活性化の拠点施設となるよう市と協力して運営を行っていく。